



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月23日

上場会社名 三菱鉛筆株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7976 URL <http://www.mpuni.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 数原 英一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長谷川 直人 TEL 03-3458-6215
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	43,725	6.8	7,488	16.4	7,930	3.5	5,132	8.8
25年12月期第3四半期	40,956	9.7	6,432	49.2	7,665	64.9	4,718	72.5

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 5,781百万円 (△23.5%) 25年12月期第3四半期 7,559百万円 (157.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	177.32	—
25年12月期第3四半期	162.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	85,856	65,152	74.6	2,223.51
25年12月期	81,946	60,863	73.0	2,065.24

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 64,009百万円 25年12月期 59,852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	13.00	—	15.00	28.00
26年12月期	—	14.50	—		
26年12月期(予想)				14.50	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	5.5	8,600	2.3	9,000	△10.2	5,800	△11.8	200.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	32,143,146株	25年12月期	32,143,146株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	3,355,308株	25年12月期	3,162,325株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	28,942,169株	25年12月期3Q	29,004,755株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日まで)におけるわが国経済は、企業収益の改善や個人消費の底堅さなど景気回復への期待感が高まる一方で、円安による原材料や食料品の輸入価格の上昇、また4月に実施された消費税増税による可処分所得の実質的な目減りなどで下振れ懸念が残されるなど、景気は依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが属しております筆記具の業界におきましても、消費税増税前の前倒し需要による反動減は想定内に留まったものの、消費者物価の上昇に対して実質的な所得の伸びが届いていないことが消費マインドに影響したこと、また円安環境においてもその効果は限定的であったことから、想定以上の重い足取りとなりました。

このような経営環境の中、当社グループは「最高の品質こそ最大のサービス」という社是の原点に立ち返り、高付加価値で高品質な商品開発を行ってまいりました。油性ボールペン『ジェットストリーム』には、なめらかな書き味はそのままに、操作性と高級感を両立させて好評を博しております『ジェットストリームプライム』に加えて、特殊繊維の「Agファイバーチップ」を搭載し「なめらかな操作感」を実現したタッチペン付きの『ジェットストリームスタイラス』を発売し、タブレット端末などのデジタルツール使用時における「書く／描く」喜びを新たにご提案いたしました。また、シャープペンシルの『クルトガ』や多色・多機能ペンの『スタイルフィット』など当社グループ主力商品を中心に更なる品質改良やバリエーションの充実を図り、新たな顧客層を開拓しながら市場シェアを拡大して収益を重ねることが出来ました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は437億25百万円(前年同期比6.8%増)となりました。また営業利益は74億88百万円(前年同期比16.4%増)、経常利益は79億30百万円(前年同期比3.5%増)、四半期純利益は51億32百万円(前年同期比8.8%増)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

筆記具及び筆記具周辺商品事業は、ジェットストリームシリーズをはじめとする主力商品の販売が引き続き堅調に推移し、この結果、外部顧客に対する売上高は417億32百万円(前年同期比7.3%増)となりました。一方、その他の事業は手工芸品事業は堅調に推移しましたが、粘着テープ事業を取り巻く環境は厳しく、この結果、外部顧客に対する売上高は19億93百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて39億9百万円増加し858億56百万円となりました。これは主として現金及び預金が25億79百万円、たな卸資産が6億12百万円、投資有価証券が4億46百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて3億79百万円減少し207億4百万円となりました。これは主として賞与引当金が6億30百万円増加した一方、未払法人税等が10億44百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて42億88百万円増加し651億52百万円となりました。これは、主として利益剰余金が42億80百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,843	30,423
受取手形及び売掛金	15,153	15,082
たな卸資産	12,931	13,543
その他	2,305	2,422
貸倒引当金	△138	△156
流動資産合計	58,095	61,314
固定資産		
有形固定資産	11,622	11,817
無形固定資産	148	141
投資その他の資産		
投資有価証券	10,346	10,793
その他	1,733	1,789
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	12,080	12,582
固定資産合計	23,851	24,541
資産合計	81,946	85,856

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,812	7,606
短期借入金	1,171	1,131
未払法人税等	2,059	1,014
賞与引当金	439	1,069
返品引当金	75	51
その他	4,557	4,669
流動負債合計	16,114	15,541
固定負債		
長期借入金	2	0
退職給付引当金	2,400	2,500
役員退職慰労引当金	821	833
環境対策引当金	28	28
負ののれん	16	-
その他	1,699	1,801
固定負債合計	4,969	5,162
負債合計	21,083	20,704
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,583	3,583
利益剰余金	50,241	54,522
自己株式	△3,329	△3,948
株主資本合計	54,993	58,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,756	3,979
繰延ヘッジ損益	△32	△13
為替換算調整勘定	1,135	1,390
その他の包括利益累計額合計	4,859	5,355
少数株主持分	1,011	1,142
純資産合計	60,863	65,152
負債純資産合計	81,946	85,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	40,956	43,725
売上原価	20,720	21,723
売上総利益	20,235	22,002
販売費及び一般管理費	13,803	14,513
営業利益	6,432	7,488
営業外収益		
受取利息	18	19
受取配当金	113	123
受取地代家賃	106	68
負ののれん償却額	49	16
持分法による投資利益	17	12
為替差益	877	173
その他	144	125
営業外収益合計	1,327	539
営業外費用		
支払利息	10	7
シンジケートローン手数料	36	43
売上割引	22	21
その他	23	25
営業外費用合計	93	97
経常利益	7,665	7,930
特別利益		
固定資産売却益	5	3
投資有価証券売却益	—	26
特別利益合計	5	30
特別損失		
固定資産除売却損	17	143
関係会社株式売却損	23	—
投資有価証券評価損	198	—
出資金評価損	—	1
代理店契約解約損	26	—
特別損失合計	265	145
税金等調整前四半期純利益	7,406	7,814
法人税等	2,562	2,553
少数株主損益調整前四半期純利益	4,844	5,261
少数株主利益	125	129
四半期純利益	4,718	5,132

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,844	5,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,702	222
繰延ヘッジ損益	38	18
為替換算調整勘定	966	278
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△0
その他の包括利益合計	2,714	520
四半期包括利益	7,559	5,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,384	5,628
少数株主に係る四半期包括利益	174	153

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	38,909	2,046	40,956	—	40,956
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	15	36	△36	—
計	38,930	2,061	40,992	△36	40,956
セグメント利益	6,340	74	6,415	16	6,432

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	41,732	1,993	43,725	—	43,725
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	11	32	△32	—
計	41,753	2,004	43,757	△32	43,725
セグメント利益	7,461	5	7,466	22	7,488

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。